

日興・GS 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第255期（決算日 2024年8月15日）第257期（決算日 2024年10月15日）第259期（決算日 2024年12月16日）
第256期（決算日 2024年9月17日）第258期（決算日 2024年11月15日）第260期（決算日 2025年1月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「日興・GS 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型）」は、2025年1月15日に第260期の決算を行ないましたので、第255期から第260期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託の受益証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への直接投資は行ないません。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は「アモヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。
社名変更後URL: www.amova-am.com

<952346>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (参考指数)		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 金	期 騰 落	中 率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
231期(2022年8月15日)	4,934	10	△2.0	207.71	△1.8	—	—	98.3	3,596
232期(2022年9月15日)	5,016	10	1.9	210.34	1.3	—	—	98.3	3,626
233期(2022年10月17日)	4,905	10	△2.0	207.24	△1.5	—	—	98.3	3,540
234期(2022年11月15日)	4,785	10	△2.2	204.92	△1.1	—	—	98.3	3,424
235期(2022年12月15日)	4,811	10	0.8	204.51	△0.2	—	—	98.3	3,431
236期(2023年1月16日)	4,521	10	△5.8	194.01	△5.1	—	—	98.3	3,223
237期(2023年2月15日)	4,637	10	2.8	198.56	2.3	—	—	98.4	3,272
238期(2023年3月15日)	4,686	5	1.2	201.19	1.3	—	—	98.4	3,293
239期(2023年4月17日)	4,713	5	0.7	203.58	1.2	—	—	98.3	3,293
240期(2023年5月15日)	4,778	5	1.5	206.57	1.5	—	—	98.3	3,331
241期(2023年6月15日)	4,883	5	2.3	209.90	1.6	—	—	98.4	3,331
242期(2023年7月18日)	4,910	5	0.7	212.76	1.4	—	—	98.3	3,309
243期(2023年8月15日)	5,019	5	2.3	216.67	1.8	—	—	98.4	3,367
244期(2023年9月15日)	5,013	5	△0.0	217.46	0.4	—	—	98.3	3,334
245期(2023年10月16日)	4,948	5	△1.2	216.73	△0.3	—	—	98.3	3,285
246期(2023年11月15日)	5,105	5	3.3	224.66	3.7	—	—	98.3	3,346
247期(2023年12月15日)	5,009	5	△1.8	220.54	△1.8	—	—	98.4	3,234
248期(2024年1月15日)	5,067	5	1.3	225.27	2.1	—	—	98.3	3,254
249期(2024年2月15日)	5,125	5	1.2	229.62	1.9	—	—	98.3	3,254
250期(2024年3月15日)	5,112	5	△0.2	228.20	△0.6	—	—	98.3	3,203
251期(2024年4月15日)	5,232	5	2.4	232.33	1.8	—	—	98.3	3,261
252期(2024年5月15日)	5,348	5	2.3	239.54	3.1	0.1	—	98.3	3,325
253期(2024年6月17日)	5,355	5	0.2	242.69	1.3	0.1	—	98.4	3,297
254期(2024年7月16日)	5,449	5	1.8	246.60	1.6	0.1	—	98.3	3,316
255期(2024年8月15日)	5,164	5	△5.1	235.21	△4.6	0.1	—	98.3	3,126
256期(2024年9月17日)	5,028	5	△2.5	229.27	△2.5	0.1	—	98.3	3,038
257期(2024年10月15日)	5,176	5	3.0	238.89	4.2	0.1	—	98.3	3,108
258期(2024年11月15日)	5,308	5	2.6	243.12	1.8	0.1	—	98.4	3,151
259期(2024年12月16日)	5,247	5	△1.1	240.67	△1.0	0.1	—	98.3	3,105
260期(2025年1月15日)	5,217	5	△0.5	241.02	0.1	0.1	—	98.3	3,081

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、設定時を100として2025年1月15日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (参考指数)		債 組 入 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第255期	(期 首) 2024年 7月16日	円 5,449	% —	246.60	% —	% 0.1	% 98.3
	7月末	5,252	△3.6	241.77	△2.0	0.1	98.3
	(期 末) 2024年 8月15日	5,169	△5.1	235.21	△4.6	0.1	98.3
第256期	(期 首) 2024年 8月15日	5,164	—	235.21	—	0.1	98.3
	8月末	5,094	△1.4	233.22	△0.8	0.1	98.3
	(期 末) 2024年 9月17日	5,033	△2.5	229.27	△2.5	0.1	98.3
第257期	(期 首) 2024年 9月17日	5,028	—	229.27	—	0.1	98.3
	9月末	5,110	1.6	233.04	1.6	0.2	98.3
	(期 末) 2024年10月15日	5,181	3.0	238.89	4.2	0.1	98.3
第258期	(期 首) 2024年10月15日	5,176	—	238.89	—	0.1	98.3
	10月末	5,237	1.2	241.99	1.3	0.2	98.3
	(期 末) 2024年11月15日	5,313	2.6	243.12	1.8	0.1	98.4
第259期	(期 首) 2024年11月15日	5,308	—	243.12	—	0.1	98.4
	11月末	5,193	△2.2	238.78	△1.8	0.2	98.4
	(期 末) 2024年12月16日	5,252	△1.1	240.67	△1.0	0.1	98.3
第260期	(期 首) 2024年12月16日	5,247	—	240.67	—	0.1	98.3
	12月末	5,292	0.9	244.01	1.4	0.1	98.4
	(期 末) 2025年 1月15日	5,222	△0.5	241.02	0.1	0.1	98.3

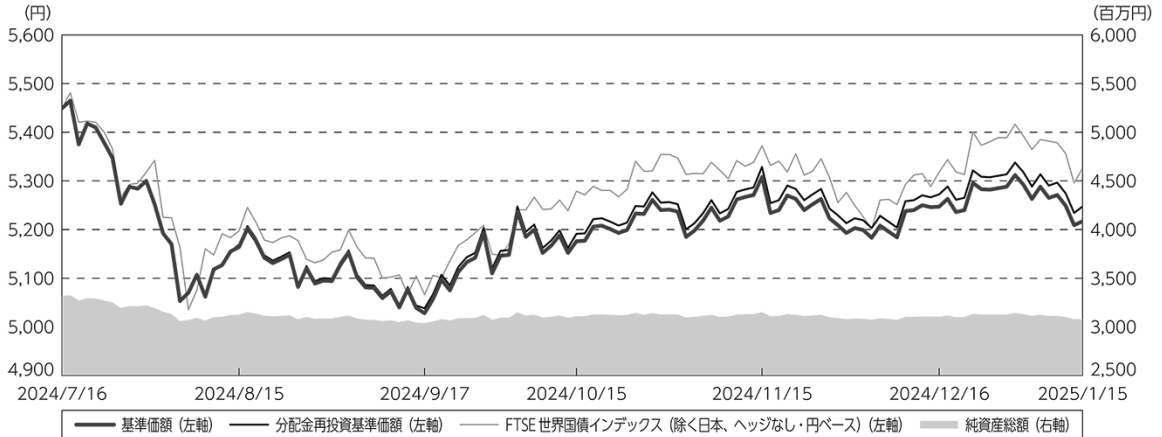
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2024年7月17日～2025年1月15日）

作成期間中の基準価額等の推移



第255期首：5,449円

第260期末：5,217円（既払分配金（税込み）：30円）

騰落率：△ 3.7%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびFTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、作成期首（2024年7月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の変動要因

当ファンドは、主として、世界先進国の信用度の高いソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・債券国別配分戦略がプラスに寄与したこと。
- ・通貨配分戦略がプラスに寄与したこと。

＜値下がり要因＞

- ・資産間配分戦略がマイナスに影響したこと。
- ・利回り上昇（債券価格は下落）と円高要因により参考指数が下落したこと。

投資環境

（海外債券市況）

期間中は、米国、英国および日本では国債利回りが緩やかに上昇したものの、欧州ではドイツ、フランス、イタリアなどの主要国で利回りは横ばいで推移しました。

米国国債の利回りは、米国連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを開始するとの観測から期間の前半では4%を下回り推移しました。2024年9月中旬には期間中最低となる3.64%まで低下（債券価格は上昇）しました。しかし、米国のインフレ率が依然として高止まりしていることから、米国経済は依然として過熱感があるとみなされ、2025年の利下げ観測は後退し9月後半から利回りは上昇に転じました。2024年12月の米国連邦公開市場委員会（FOMC）では2025年の金利引き下げ回数を9月の見通しから半減させ2回と公表しました。この利下げ幅縮小を受けてFOMC後から米国国債利回りは上昇ペースを強め、期間末では4.65%に達しました。

ドイツでは、2024年11月まで国債利回りが2%～2.5%のボックス圏で推移しました。2023年に続いて2024年も経済成長率のマイナスが続くことが確実になり、欧州中央銀行（ECB）が2024年12月に3回連続で政策金利を引き下げたことが背景にあります。2024年末からは米国国債の利回り上昇の影響を受けやや上昇し、期間末では2.56%となりました。

日本においては2024年3月のゼロ金利政策解除後、7月に政策金利を0.25%に引き上げたものの、その後3回連続で金利引き上げを見送り、国債利回りは1%近辺で緩やかに推移しました。しかし2025年1月以降に利上げを複数回実施するとの予想から国債利回りは緩やかに上昇し、期間末では1.25%となりました。

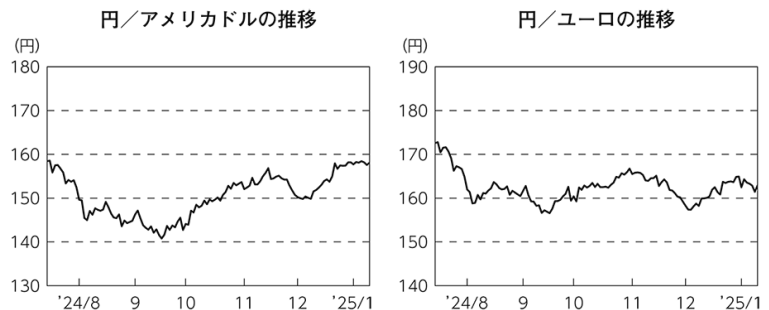
（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.08%近辺から、日銀が2024年7月の金融政策決定会合において政策金利を引き上げたことなどから、0.23%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.02%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.25%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券を高位に組み入れ、残余部分は「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券を中心に組み入れて運用を行ないました。

（世界ソブリン・ベビーファンド）

「世界ソブリン・ベビーファンド」は、「計量世界債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れ、信託財産の長期的な成長を図ることを目標としたファンドです。

「計量世界債券マザーファンド」では、以下のような運用がなされました。

①債券・円短期金融商品における資産間配分

債券と円短期金融商品における資産間配分では、債券に対して弱気としました。期間中の資産間配分は本マザーファンドのパフォーマンスにマイナス要因となったものと推定されます。

②債券国別配分

債券国別配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響はプラスであったものと推定されます。フランスに対して強気、英国に対して弱気としていたことがプラス要因となりましたが、日本に対して弱気、オーストラリアに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

③通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行ないます。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、アメリカドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、アメリカドルの配分を減らすということになります。

期間中の通貨配分戦略は本マザーファンドのパフォーマンスにプラス要因となったものと推定されます。カナダドルに弱気、ニュージーランドドルに強気としていたことがプラス要因となった一方で、アメリカドルに対して強気、ノルウェークローネに対して弱気としたことがマイナス要因となりました。

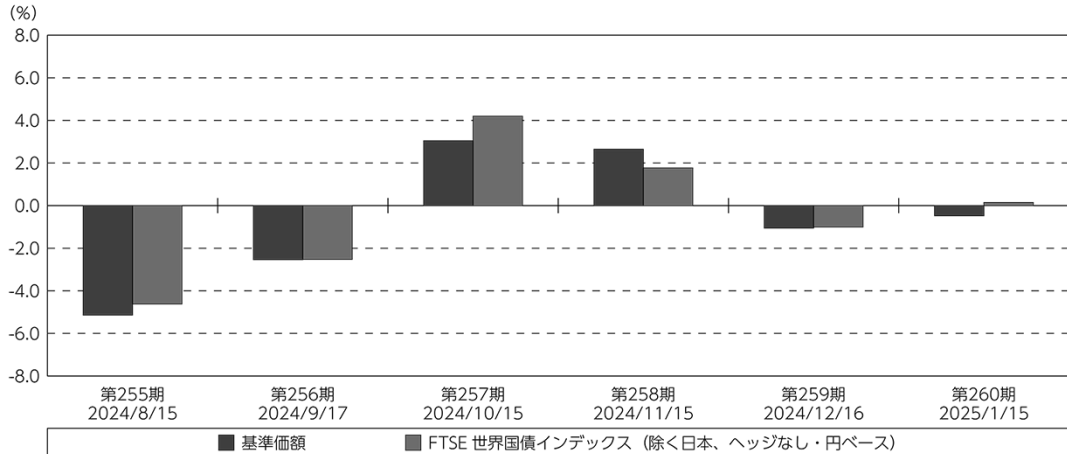
（マネー・オープン・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第255期	第256期	第257期	第258期	第259期	第260期
	2024年7月17日～ 2024年8月15日	2024年8月16日～ 2024年9月17日	2024年9月18日～ 2024年10月15日	2024年10月16日～ 2024年11月15日	2024年11月16日～ 2024年12月16日	2024年12月17日～ 2025年1月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.097%	5 0.099%	5 0.097%	5 0.094%	5 0.095%	5 0.096%
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	94	94	97	99	100	101

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、原則として「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券を高位に組み入れ、残余部分は「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券を中心に組み入れて運用を行ないます。

（世界ソブリン・ベビーファンド）

主として「計量世界債券マザーファンド」受益証券に投資し、原則として、その組入比率を高位に保ちます。これにより、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざします。

債券国別、通貨、資産間の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

①債券・円短期金融商品間における資産間配分

資産間配分では、円キャッシュに対し、モメンタムの観点から世界債券に強気の見通しとしています。

②債券国別配分

債券国別配分においては、ドイツやフランスに対して強気の見通しとする一方で、オーストラリアや英国に対して弱気の見通しとしています。フランスとドイツに対してはバリュエーションとマクロの観点から強気とする一方で、オーストラリアに対してはモメンタムの観点から、英国に対してはマクロおよびモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

③通貨配分

通貨配分においては、米国や日本に対して強気の見通しとする一方で、スイスやユーロ圏に対して弱気の見通しとしています。米国に対してはモメンタムおよびマクロの観点から、日本に対してはファンドフローおよびバリュエーションの観点から強気の見通しとする一方で、スイスに対してはモメンタムおよびマクロの観点から、ユーロ圏に対してはファンドフローおよびマクロの観点から弱気の見通しとしています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・オープン・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年7月17日～2025年1月15日)

項 目	第255期～第260期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 11	% 0.221	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(2)	(0.044)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(8)	(0.160)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	11	0.223	
作成期間の平均基準価額は、5,196円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

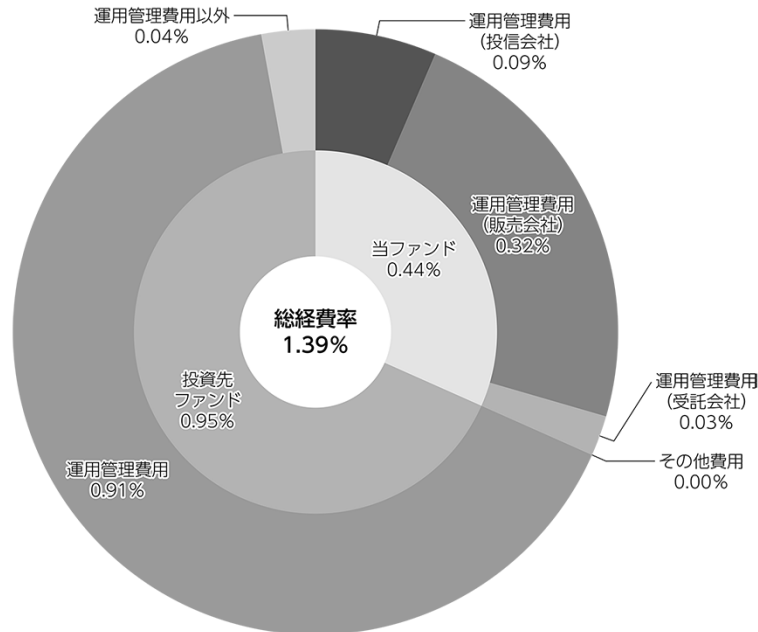
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.39%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.39
①当ファンドの費用の比率	0.44
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.91
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年7月17日～2025年1月15日)

投資信託証券

銘柄		第255期～第260期			
		買付		売却	
		口数	金額	口数	金額
国内	世界ソブリン・ベビーファンド	千口 41,816	千円 27,597	千口 173,340	千円 115,258

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第255期～第260期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・オープン・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 293	千円 297

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月17日～2025年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年7月17日～2025年1月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年7月17日～2025年1月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年1月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第254期末	第260期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
世界ソブリン・ベビーファンド		4,683,467	4,551,943	3,029,318	98.3
合	計	4,683,467	4,551,943	3,029,318	98.3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第254期末	第260期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・オープン・マザーファンド		6,301	6,008	6,105

(注) 親投資信託の2025年1月15日現在の受益権総口数は、268,676千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年1月15日現在)

項	目	第260期末	
		評価額	比率
		千円	%
投資信託受益証券		3,029,318	98.2
マネー・オープン・マザーファンド		6,105	0.2
コール・ローン等、その他		50,643	1.6
投資信託財産総額		3,086,066	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第255期末	第256期末	第257期末	第258期末	第259期末	第260期末
	2024年8月15日現在	2024年9月17日現在	2024年10月15日現在	2024年11月15日現在	2024年12月16日現在	2025年1月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,130,679,302	3,042,320,232	3,113,214,132	3,157,547,097	3,109,226,806	3,086,066,018
コール・ローン等	47,259,360	44,355,416	47,030,343	46,354,974	46,939,012	50,642,227
投資信託受益証券(評価額)	3,073,944,814	2,986,206,968	3,056,214,595	3,100,650,079	3,052,737,082	3,029,318,140
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	6,190,668	6,124,884	6,103,524	6,104,125	6,104,726	6,105,327
未収入金	3,284,153	5,632,680	3,865,370	4,437,622	3,445,685	—
未収利息	307	284	300	297	301	324
(B) 負債	4,187,118	4,260,149	5,001,257	5,912,652	4,127,149	4,090,523
未払収益分配金	3,027,207	3,021,337	3,002,598	2,968,980	2,959,099	2,953,925
未払解約金	2	—	946,528	1,770,143	4	2
未払信託報酬	1,148,435	1,226,558	1,041,722	1,161,922	1,156,492	1,125,352
その他未払費用	11,474	12,254	10,409	11,607	11,554	11,244
(C) 純資産総額(A-B)	3,126,492,184	3,038,060,083	3,108,212,875	3,151,634,445	3,105,099,657	3,081,975,495
元本	6,054,415,886	6,042,674,836	6,005,196,238	5,937,961,914	5,918,199,432	5,907,850,035
次期繰越損益金	△2,927,923,702	△3,004,614,753	△2,896,983,363	△2,786,327,469	△2,813,099,775	△2,825,874,540
(D) 受益権総口数	6,054,415,886口	6,042,674,836口	6,005,196,238口	5,937,961,914口	5,918,199,432口	5,907,850,035口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,164円	5,028円	5,176円	5,308円	5,247円	5,217円

(注) 当ファンドの第255期首元本額は6,086,623,773円、第255～260期中追加設定元本額は20,828,654円、第255～260期中一部解約元本額は199,602,392円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第255期0.5164円、第256期0.5028円、第257期0.5176円、第258期0.5308円、第259期0.5247円、第260期0.5217円です。

(注) 2025年1月15日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,825,874,540円です。

○損益の状況

項 目	第255期	第256期	第257期	第258期	第259期	第260期
	2024年7月17日～ 2024年8月15日	2024年8月16日～ 2024年9月17日	2024年9月18日～ 2024年10月15日	2024年10月16日～ 2024年11月15日	2024年11月16日～ 2024年12月16日	2024年12月17日～ 2025年1月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	4,667,091	4,658,665	4,628,065	4,577,284	4,561,998	4,553,945
受取配当金	4,660,733	4,648,525	4,619,786	4,568,068	4,552,919	4,545,097
受取利息	6,358	10,140	8,279	9,216	9,079	8,848
(B) 有価証券売買損益	△ 172,785,197	△ 82,766,795	88,420,948	77,785,444	△ 36,480,047	△ 18,158,216
売買益	667,983	103,368	88,808,723	78,181,053	165,496	40,284
売買損	△ 173,453,180	△ 82,870,163	△ 88,377,775	△ 395,609	△ 36,645,543	△ 18,198,500
(C) 信託報酬等	△ 1,159,909	△ 1,238,812	△ 1,052,131	△ 1,173,529	△ 1,168,046	△ 1,136,596
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	△ 169,278,015	△ 79,346,942	91,996,882	81,189,199	△ 33,086,095	△ 14,740,867
(E) 前期繰越損益金	△ 1,563,617,494	△ 1,731,589,955	△ 1,801,666,744	△ 1,692,555,757	△ 1,608,093,576	△ 1,640,365,849
(F) 追加信託差損益金	△ 1,192,000,986	△ 1,190,656,519	△ 1,184,310,903	△ 1,171,991,931	△ 1,168,961,005	△ 1,167,813,899
(配当等相当額)	(35,684,271)	(35,626,930)	(35,418,361)	(35,034,479)	(34,930,978)	(34,883,362)
(売買損益相当額)	(△ 1,227,685,257)	(△ 1,226,283,449)	(△ 1,219,729,264)	(△ 1,207,026,410)	(△ 1,203,891,983)	(△ 1,202,697,261)
(G) 計 (D+E+F)	△ 2,924,896,495	△ 3,001,593,416	△ 2,893,980,765	△ 2,783,358,489	△ 2,810,140,676	△ 2,822,920,615
(H) 収益分配金	△ 3,027,207	△ 3,021,337	△ 3,002,598	△ 2,968,980	△ 2,959,099	△ 2,953,925
次期繰越損益金 (G+H)	△ 2,927,923,702	△ 3,004,614,753	△ 2,896,983,363	△ 2,786,327,469	△ 2,813,099,775	△ 2,825,874,540
追加信託差損益金	△ 1,192,000,986	△ 1,190,656,519	△ 1,184,310,903	△ 1,171,991,931	△ 1,168,961,005	△ 1,167,813,899
(配当等相当額)	(35,684,271)	(35,626,930)	(35,418,361)	(35,034,479)	(34,930,978)	(34,883,362)
(売買損益相当額)	(△ 1,227,685,257)	(△ 1,226,283,449)	(△ 1,219,729,264)	(△ 1,207,026,410)	(△ 1,203,891,983)	(△ 1,202,697,261)
分配準備積立金	21,284,092	21,629,996	23,057,026	24,329,725	24,670,972	25,078,219
繰越損益金	△ 1,757,206,808	△ 1,835,588,230	△ 1,735,729,486	△ 1,638,665,263	△ 1,668,809,742	△ 1,683,138,860

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2024年7月17日～2025年1月15日）は以下の通りです。

項 目	2024年7月17日～ 2024年8月15日	2024年8月16日～ 2024年9月17日	2024年9月18日～ 2024年10月15日	2024年10月16日～ 2024年11月15日	2024年11月16日～ 2024年12月16日	2024年12月17日～ 2025年1月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	3,507,549円	3,420,365円	4,576,195円	4,512,502円	3,394,418円	3,417,786円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金増減後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	35,684,271円	35,626,930円	35,418,361円	35,034,479円	34,930,978円	34,883,362円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	20,803,750円	21,230,968円	21,483,429円	22,786,203円	24,235,653円	24,614,358円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	59,995,570円	60,278,263円	61,477,985円	62,333,184円	62,561,049円	62,915,506円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	99円	99円	102円	104円	105円	106円
g. 分配金	3,027,207円	3,021,337円	3,002,598円	2,968,980円	2,959,099円	2,953,925円
h. 分配金(1万口当たり)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第255期	第256期	第257期	第258期	第259期	第260期
1 万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

○お知らせ

約款変更について

2024年7月17日から2025年1月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 東京証券取引所における取引終了時間が「午後3時」から「午後3時30分」に延伸されたことに伴ない、弊社が設定する証券投資信託の申込締切時間も同様に30分延伸することを原則とします。その例外として、当ファンドにおいては、適切な資産評価と事務処理を実施するため、申込締切時間を「午後3時」のままとすることを規定すべく、2024年11月5日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第11条、第34条、第36条）

その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

世界ソブリン・ベビーファンド

追加型投信／海外／債券

第260期末(2025年1月14日)	第255期～第260期		
基準価額	6,639円	騰落率	-4.1%
純資産総額	3,235百万円	分配金合計	60円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	原則として無期限
運用方針	世界各国の債券、通貨を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの構築には、ゴールドマン・サックスが開発した計量モデルを使い、ベンチマークを上回る投資成果をめざします。計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施します。
主要投資対象	
本ファンド	計量世界債券マザーファンドの受益証券
計量世界債券マザーファンド	債券先物取引、円短期金融商品を含む世界各国の債券、通貨
運用方法・組入制限	①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。 ②本ファンドおよびマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。 ・外貨建資産への投資については制限を設けません。 ・株式への投資割合は、信託財産の5%以下とします。
分配方針	原則として毎計算期末(毎月14日。休業日の場合は前営業日。)に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の配当等収益および売買損益(評価損益を含みます。)等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

第255期(決算日2024年8月14日)
第256期(決算日2024年9月13日)
第257期(決算日2024年10月11日)
第258期(決算日2024年11月14日)
第259期(決算日2024年12月13日)
第260期(決算日2025年1月14日)

作成対象期間:2024年7月13日～2025年1月14日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「世界ソブリン・ベビーファンド」は、このたび、第255期～第260期の決算を行いました。本ファンドは、独自開発の計量運用モデルを用いて世界各国の債券、通貨に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒105-5543 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー
お問合せ先: 03-4587-6000(代表) | www.gsam.co.jp
受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

■最近5作成期の運用実績

決 算 期		基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期 中 騰落率	ベンチマーク	期 中 騰落率	債 券	債 券	純資産 総 額
							組入比率	先物比率	
		円	円	%		%	%	%	百万円
①	231期(2022年8月12日)	6,297	10	△1.4	20,744	△1.8	82.6	△9.6	3,798
	232期(2022年9月14日)	6,434	10	2.3	21,006	1.3	81.7	△29.9	3,846
	233期(2022年10月14日)	6,247	10	△2.8	20,697	△1.5	80.5	△11.1	3,723
	234期(2022年11月14日)	6,080	10	△2.5	20,465	△1.1	81.9	△27.4	3,592
	235期(2022年12月14日)	6,126	10	0.9	20,425	△0.2	83.1	△26.6	3,601
	236期(2023年1月13日)	5,841	10	△4.5	19,376	△5.1	83.3	△21.7	3,432
②	237期(2023年2月14日)	5,916	10	1.5	19,830	2.3	83.0	△29.4	3,438
	238期(2023年3月14日)	5,949	10	0.7	20,093	1.3	84.2	△12.6	3,446
	239期(2023年4月14日)	6,007	10	1.1	20,332	1.2	84.7	4.2	3,454
	240期(2023年5月12日)	6,084	10	1.4	20,630	1.5	84.7	22.4	3,495
	241期(2023年6月14日)	6,220	10	2.4	20,963	1.6	85.1	△3.0	3,496
	242期(2023年7月14日)	6,225	10	0.2	21,157	0.9	86.5	6.1	3,459
③	243期(2023年8月14日)	6,401	10	3.0	21,639	2.3	85.4	△41.5	3,542
	244期(2023年9月14日)	6,412	10	0.3	21,718	0.4	86.0	1.6	3,519
	245期(2023年10月13日)	6,335	10	△1.0	21,645	△0.3	85.8	△25.1	3,451
	246期(2023年11月14日)	6,490	10	2.6	22,437	3.7	87.0	0.2	3,492
	247期(2023年12月14日)	6,311	10	△2.6	22,025	△1.8	90.1	△9.8	3,354
	248期(2024年1月12日)	6,463	10	2.6	22,498	2.1	90.4	△25.7	3,422
④	249期(2024年2月14日)	6,536	10	1.3	22,932	1.9	90.6	△7.6	3,422
	250期(2024年3月14日)	6,540	10	0.2	22,790	△0.6	83.7	△7.2	3,372
	251期(2024年4月12日)	6,650	10	1.8	23,203	1.8	83.0	△3.0	3,417
	252期(2024年5月14日)	6,824	10	2.8	23,922	3.1	83.2	△24.5	3,493
	253期(2024年6月14日)	6,814	10	0.0	24,238	1.3	85.2	△25.2	3,465
	254期(2024年7月12日)	6,985	10	2.7	24,607	1.5	85.9	△24.7	3,504
⑤	255期(2024年8月14日)	6,574	10	△5.7	23,490	△4.5	87.1	8.6	3,286
	256期(2024年9月13日)	6,422	10	△2.2	22,854	△2.7	87.4	30.9	3,196
	257期(2024年10月11日)	6,567	10	2.4	23,784	4.1	87.5	10.3	3,250
	258期(2024年11月14日)	6,721	10	2.5	24,280	2.1	87.1	△21.1	3,296
	259期(2024年12月13日)	6,688	10	△0.3	24,036	△1.0	86.8	△4.1	3,267
	260期(2025年1月14日)	6,639	10	△0.6	24,071	0.1	86.2	△18.5	3,235

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ベンチマーク (F T S E世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率、債券先物比率は、実質比率を記載しております。

■過去6ヶ月間の基準価額と市況推移

決算期	年 月 日	基準価額		ベンチマーク		債 券 組入比率	債 券 先物比率
			騰落率		騰落率		
第255期	(期 首)2024年7月12日	円	%		%	%	%
	7月末	6,985	—	24,607	—	85.9	△24.7
	(期 末)2024年8月14日	6,709	△4.0	23,615	△4.0	85.9	△31.4
第256期	(期 首)2024年8月14日	6,584	△5.7	23,490	△4.5	87.1	8.6
	8月末	6,574	—	23,490	—	87.1	8.6
	(期 末)2024年9月13日	6,502	△1.1	23,312	△0.8	86.9	34.4
第257期	(期 首)2024年9月13日	6,432	△2.2	22,854	△2.7	87.4	30.9
	9月末	6,422	—	22,854	—	87.4	30.9
	(期 末)2024年10月11日	6,522	1.6	23,264	1.8	87.1	31.2
第258期	(期 首)2024年10月11日	6,577	2.4	23,784	4.1	87.5	10.3
	10月末	6,567	—	23,784	—	87.5	10.3
	(期 末)2024年11月14日	6,686	1.8	24,014	1.0	87.7	△16.4
第259期	(期 首)2024年11月14日	6,731	2.5	24,280	2.1	87.1	△21.1
	11月末	6,721	—	24,280	—	87.1	△21.1
	(期 末)2024年12月13日	6,628	△1.4	23,726	△2.3	86.8	△5.9
第260期	(期 首)2024年12月13日	6,698	△0.3	24,036	△1.0	86.8	△4.1
	12月末	6,688	—	24,036	—	86.8	△4.1
	(期 末)2025年1月14日	6,755	1.0	24,321	1.2	86.8	△0.8
		6,649	△0.6	24,071	0.1	86.2	△18.5

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

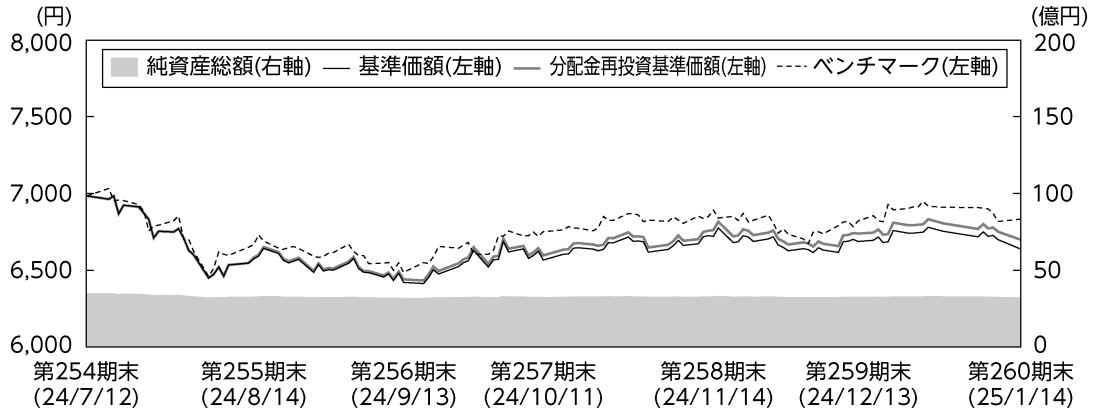
(注2) ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース））は、2003年3月27日（設定日）を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率、債券先物比率は、実質比率を記載しております。

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2024年7月13日～2025年1月14日）



第255期首：6,985円

第260期末：6,639円

（当作成期中にお支払いした分配金：60円）

騰落率：-4.1%（分配金再投資ベース）

- (注1) ベンチマークはF T S E 世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース）です。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、ベンチマークは、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の6,985円から346円下落し、期末には6,639円となりました。

上昇要因

- ・債券国別配分戦略がプラスに寄与したこと。
- ・通貨配分戦略がプラスに寄与したこと。

下落要因

- ・資産間配分戦略がマイナスに寄与したこと。
- ・利回り上昇と円高要因によりベンチマークが低下したこと。

■投資環境について

<外国債券市場>

期間中は、米国、英国および日本では国債利回りは緩やかに上昇したものの、欧州ではドイツ、フランス、イタリアなどの主要国では利回りは横ばいで推移しました。

米国債の利回りは、米連邦準備制度理事会（F R B）が利下げを開始すると観測から期の前半では4%を下回り推移しました。2024年9月中旬には期中最低となる3.6%台まで低下しました。しかし、米国のインフレ率が依然として高止まりしていることから、米国経済は依然として過熱感があるとみなされ、2025年の利下げ観測は後退し9月後半から利回りは上昇に転じました。2024年12月の米連邦公開市場委員会（F O M C）では2025年の金利引き下げ回数を9月の見通しから半減させ2回と公表しました。この利下げ幅縮小を受けてF O M C後から米国債利回りは上昇ペースを強め期末では4.7%台となりました。

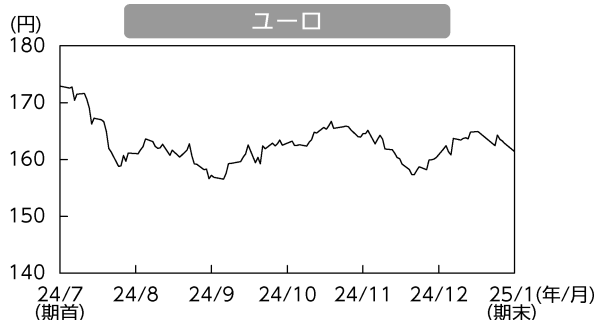
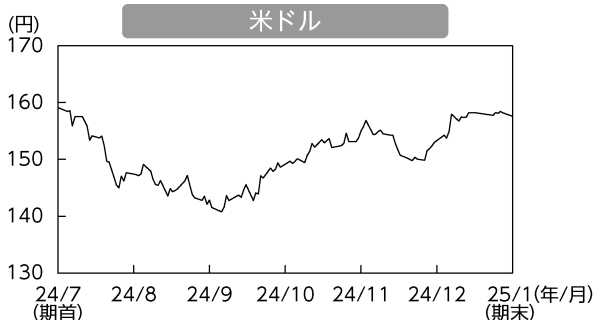
ドイツでは、2024年11月まで国債利回りが2%~2.5%のボックス圏で推移しました。2023年に続いて2024年も経済成長率のマイナスが続くことが確実になり、欧州中央銀行（E C B）は2024年12月に3回連続で政策金利を引き下げたことが背景にあります。2024年末からは米国債の利回り上昇の影響を受けやや上昇し、期末では2.6%台となりました。

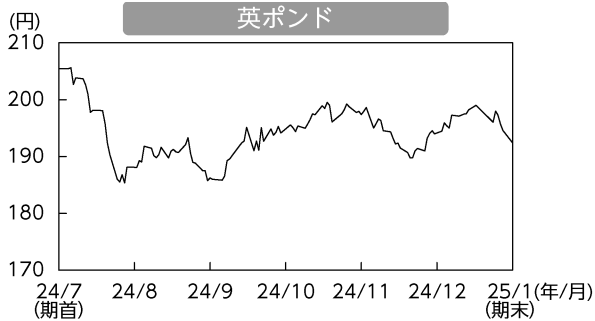
日本においては2024年3月のゼロ金利政策解除後、7月に政策金利を0.25%に引き上げたものの、その後3回連続で金利引き上げを見送り、国債利回りは1%近辺で緩やかに推移しました。しかし2025年1月以降に利上げを複数回実施すると予想から国債利回りは緩やかに上昇し、期末では1.2%台となりました。

<外国為替市場>

外国為替市場は、主要先進国通貨は円に対して総じて下落しました。

○為替レート（対円）の推移





出所：三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（TTMレート）

■ポートフォリオについて

<本ファンド>

計量世界債券マザーファンドの組入れを高位に維持することにより、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが開発した計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施しながら、世界各国の債券、通貨への投資を行いました。

<本マザーファンド>

ベンチマークの構成比率を基本資産配分比率としながら、市場見通しにより債券と通貨の資産配分を機動的に変更するアクティブ運用を行いました。

債券・円短期金融商品における資産間配分

債券と円短期金融商品における資産間配分では、債券に対して弱気としました。期間中の資産間配分は本マザーファンドのパフォーマンスにマイナス要因となったものと推定されます。

債券国別配分

債券国別配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響はプラスであったものと推定されます。フランスに対して強気、英国に対して弱気としていたことがプラス要因となりましたが、日本に対して弱気、オーストラリアに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

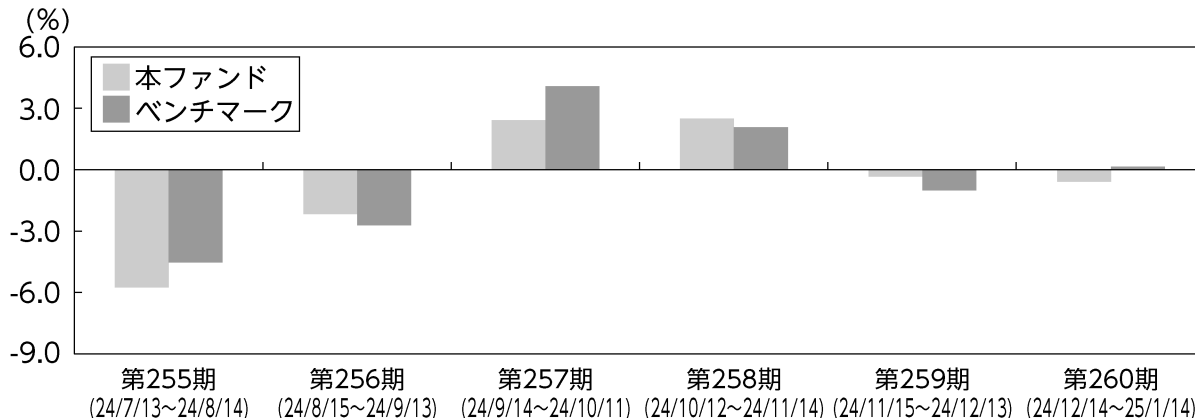
通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行います。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、アメリカドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、アメリカドルの配分を減らすということになります。

期間中の通貨配分戦略は本マザーファンドのパフォーマンスにプラス要因となったものと推定されず。カナダドルに弱気、ニュージーランドドルに強気としていたことがプラス要因となった一方で、アメリカドルに対して強気、ノルウェークローネに対して弱気としたことがマイナス要因となりました。

■ベンチマークとの差異について

＜当期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）＞



(注1) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) ベンチマークはF T S E世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース）です。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は-4.1%となり、ベンチマーク（-2.2%）を下回りました。

当期においては、債券国別配分および通貨配分がプラス寄与となった一方、資産間配分がマイナス寄与となりました。

■分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第255期から第260期は各10円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

今後の運用方針について

＜本ファンド＞

今後も引き続き本マザーファンド受益証券の組入れを高位に維持し、世界各国の債券および通貨への投資を通じて、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目指していきます。

＜本マザーファンド＞

資産間、債券国別、通貨の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

債券・円短期金融商品における資産間配分

資産間配分では、円キャッシュに対し、モメンタムの観点から世界債券に強気の見通しとしています。

債券国別配分

債券国別配分においては、ドイツやフランスに対して強気の見通しとする一方で、オーストラリアや英国に対して弱気の見通しとしています。フランスとドイツに対してはバリューとマクロの観点から強気とする一方で、オーストラリアに対してはモメンタムの観点から、英国に対してはマクロおよびモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

通貨配分

通貨配分においては、米国や日本に対して強気の見通しとする一方で、スイスやユーロ圏に対して弱気の見通しとしています。米国に対してはモメンタムおよびマクロの観点から、日本に対してはファンドフローおよびバリューの観点から強気の見通しとする一方で、スイスに対してはモメンタムおよびマクロの観点から、ユーロ圏に対してはファンドフローおよびマクロの観点から弱気の見通しとしています。

(上記見通しは2025年1月14日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

■1万口当たりの費用明細

項目	第255期～第260期		項目の概要
	2024年7月13日～2025年1月14日		
	金額	比率	
信託報酬	32円	0.476%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(20)	(0.308)	
(販売会社)	(11)	(0.163)	
(受託会社)	(0)	(0.006)	
売買委託手数料	1	0.019	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	(1)	(0.015)	
(プライムブローカー)	(0)	(0.004)	
その他費用	1	0.019	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(保管費用)	(0)	(0.002)	
(監査費用)	(0)	(0.004)	
(その他)	(1)	(0.013)	
合計	35	0.514	

期中の平均基準価額は6,633円です。

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2024年7月13日から2025年1月14日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第255期～第260期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	14,991	33,023	78,997	173,866

■ 利害関係人との取引状況等 (2024年7月13日から2025年1月14日まで)

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細 (2025年1月14日現在)

親投資信託残高

種 類	第254期末	第260期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	1,528,137	1,464,131	3,243,489

■投資信託財産の構成

2025年1月14日現在

項 目	第260期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	3,243,489	99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,821	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	3,248,310	100.0

(注1) 計量世界債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,875,837千円)の投資信託財産総額(3,341,959千円)に対する比率は86.1%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=157.57円、1カナダドル=109.61円、1ユーロ=161.43円、1英ポンド=192.39円、1オーストラリアドル=97.43円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第255期末	第256期末	第257期末	第258期末	第259期末	第260期末
	2024年8月14日	2024年9月13日	2024年10月11日	2024年11月14日	2024年12月13日	2025年1月14日
(A) 資 産	3,293,932,381円	3,209,648,724円	3,261,350,049円	3,308,796,647円	3,283,106,000円	3,248,310,624円
計量世界債券マザー ファンド(評価額)	3,293,932,381	3,204,054,513	3,257,484,680	3,304,359,026	3,275,264,593	3,243,489,891
未 収 入 金	-	5,594,211	3,865,369	4,437,621	7,841,407	4,820,733
(B) 負 債	7,915,111	13,134,947	11,198,563	12,265,346	15,216,318	12,452,307
未 払 収 益 分 配 金	4,998,171	4,977,242	4,949,316	4,904,483	4,886,180	4,873,767
未 払 解 約 金	-	5,594,211	3,865,369	4,437,621	7,841,407	4,820,733
未 払 信 託 報 酬	2,854,829	2,507,166	2,331,499	2,859,009	2,434,045	2,697,208
そ の 他 未 払 費 用	62,111	56,328	52,379	64,233	54,686	60,599
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,286,017,270	3,196,513,777	3,250,151,486	3,296,531,301	3,267,889,682	3,235,858,317
元 本	4,998,171,849	4,977,242,405	4,949,316,279	4,904,483,379	4,886,180,228	4,873,767,704
次 期 繰 越 損 益 金	△1,712,154,579	△1,780,728,628	△1,699,164,793	△1,607,952,078	△1,618,290,546	△1,637,909,387
(D) 受 益 権 総 口 数	4,998,171,849口	4,977,242,405口	4,949,316,279口	4,904,483,379口	4,886,180,228口	4,873,767,704口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,574円	6,422円	6,567円	6,721円	6,688円	6,639円

(注) 当作成期首元本額は5,017,176,904円、当作成期間(第255期~第260期)中において、追加設定元本額は49,623,099円、同解約元本額は193,032,299円です。

■ 損益の状況

項 目	第255期	第256期	第257期	第258期	第259期	第260期
	自2024年7月13日 至2024年8月14日	自2024年8月15日 至2024年9月13日	自2024年9月14日 至2024年10月11日	自2024年10月12日 至2024年11月14日	自2024年11月15日 至2024年12月13日	自2024年12月14日 至2025年1月14日
(A) 有価証券売買損益	△ 197,318,758円	△ 68,202,554円	78,906,360円	83,606,356円	△ 8,963,715円	△ 16,098,436円
売 買 益	721,630	110,073	79,414,706	84,282,163	95,628	65,864
売 買 損	△ 198,040,388	△ 68,312,627	△ 508,346	△ 675,807	△ 9,059,343	△ 16,164,300
(B) 信託報酬等	△ 2,916,940	△ 2,563,494	△ 2,383,878	△ 2,923,242	△ 2,488,731	△ 2,757,807
(C) 当期損益金(A+B)	△ 200,235,698	△ 70,766,048	76,522,482	80,683,114	△ 11,452,446	△ 18,856,243
(D) 前期繰越損益金	△ 262,992,555	△ 465,556,903	△ 537,426,348	△ 460,470,343	△ 382,686,745	△ 397,417,441
(E) 追加信託差損益金	△ 1,243,928,155	△ 1,239,428,435	△ 1,233,311,611	△ 1,223,260,366	△ 1,219,265,175	△ 1,216,761,936
(配当等相当額)	(31,414,535)	(31,466,742)	(31,479,767)	(31,503,997)	(31,590,436)	(31,712,885)
(売買損益相当額)	(△ 1,275,342,690)	(△ 1,270,895,177)	(△ 1,264,791,378)	(△ 1,254,764,363)	(△ 1,250,855,611)	(△ 1,248,474,821)
(F) 計(C+D+E)	△ 1,707,156,408	△ 1,775,751,386	△ 1,694,215,477	△ 1,603,047,595	△ 1,613,404,366	△ 1,633,035,620
(G) 収益分配金	△ 4,998,171	△ 4,977,242	△ 4,949,316	△ 4,904,483	△ 4,886,180	△ 4,873,767
次期繰越損益金(F+G)	△ 1,712,154,579	△ 1,780,728,628	△ 1,699,164,793	△ 1,607,952,078	△ 1,618,290,546	△ 1,637,909,387
追加信託差損益金	△ 1,243,928,155	△ 1,239,428,435	△ 1,233,311,611	△ 1,223,260,366	△ 1,219,265,175	△ 1,216,761,936
(配当等相当額)	(31,431,239)	(31,482,455)	(31,496,671)	(31,528,008)	(31,609,097)	(31,727,146)
(売買損益相当額)	(△ 1,275,359,394)	(△ 1,270,910,890)	(△ 1,264,808,282)	(△ 1,254,788,374)	(△ 1,250,874,272)	(△ 1,248,489,082)
分配準備積立金	110,401,442	112,518,180	117,232,757	121,679,098	123,618,625	125,002,446
繰越損益金	△ 578,627,866	△ 653,818,373	△ 583,085,939	△ 506,370,810	△ 522,643,996	△ 546,149,897

(注1) 損益の状況の中で (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

■ 分配金のお知らせ

決 算 期	第255期	第256期	第257期	第258期	第259期	第260期
1万円当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◇分配金につきましては、販売会社が、自動けいぞく投資契約（販売会社によっては名称が異なる場合もございます）に基づいて、ファンドへの再投資を行っております。

■ 分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第255期	第256期	第257期	第258期	第259期	第260期
	2024年7月13日 ~2024年8月14日	2024年8月15日 ~2024年9月13日	2024年9月14日 ~2024年10月11日	2024年10月12日 ~2024年11月14日	2024年11月15日 ~2024年12月13日	2024年12月14日 ~2025年1月14日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.152	0.155	0.152	0.149	0.149	0.150
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	283	289	300	312	317	321

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

計量世界債券 マザーファンド

親投資信託

第44期（決算日2025年1月14日）

作成対象期間:2024年7月13日～2025年1月14日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
法令・諸規則に基づき、親投資信託(マザーファンド)の
期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	原則として無期限
運用方針	世界各国の債券、通貨を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの構築には、ゴールドマン・サックスが開発した計量モデルを使い、ベンチマークを上回る投資成果をめざします。計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施します。
主要投資対象	債券先物取引、円短期金融商品を含む世界各国の債券、通貨
組入制限	①外貨建資産への投資については制限を設けません。 ②株式への投資割合は、信託財産の5%以下とします。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	期中騰落率		期中騰落率			
40期(2023年1月13日)	18,422	△7.4	19,376	△8.3	83.1	△21.7	3,441
41期(2023年7月14日)	19,921	8.1	21,157	9.2	86.2	6.1	3,467
42期(2024年1月12日)	20,978	5.3	22,498	6.3	90.2	△25.7	3,430
43期(2024年7月12日)	22,983	9.6	24,607	9.4	85.7	△24.7	3,512
44期(2025年1月14日)	22,153	△3.6	24,071	△2.2	86.0	△18.4	3,243

(注1) ベンチマーク (FTSE世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

■当期中の基準価額と市況推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債券組入比率	債券先物比率
	円	騰落率		騰落率		
(期首) 2024年7月12日	22,983	—	24,607	—	85.7	△24.7
7月末	22,085	△3.9	23,615	△4.0	85.9	△31.4
8月末	21,455	△6.6	23,312	△5.3	86.8	34.4
9月末	21,570	△6.1	23,264	△5.5	87.0	31.2
10月末	22,164	△3.6	24,014	△2.4	87.7	△16.4
11月末	22,021	△4.2	23,726	△3.6	86.8	△5.9
12月末	22,496	△2.1	24,321	△1.2	86.8	△0.8
(期末) 2025年1月14日	22,153	△3.6	24,071	△2.2	86.0	△18.4

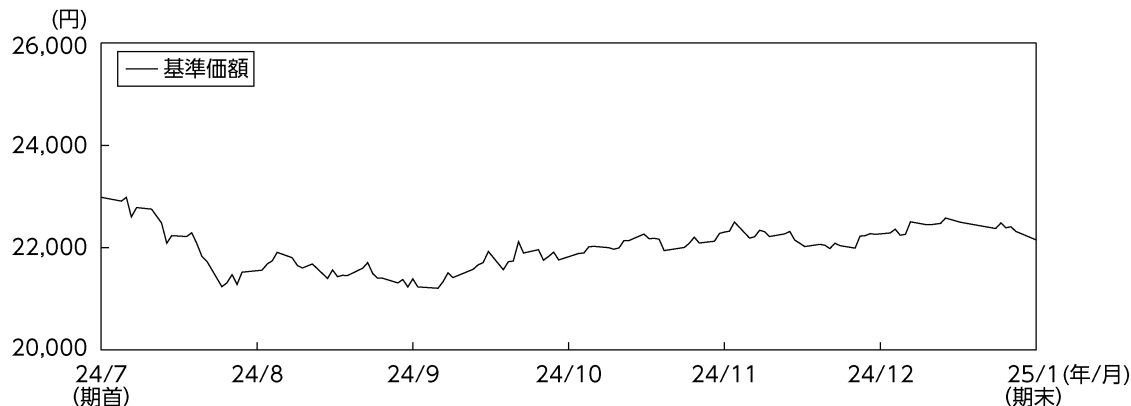
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) ベンチマーク (FTSE世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

運用経過

■基準価額の推移について（2024年7月13日～2025年1月14日）



■基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の22,983円から830円下落し、期末には22,153円となりました。

上昇要因

- ・債券国別配分戦略がプラスに寄与したこと。
- ・通貨配分戦略がプラスに寄与したこと。

下落要因

- ・資産間配分戦略がマイナスに寄与したこと。
- ・利回り上昇と円高要因によりベンチマークが低下したこと。

■投資環境について

<外国債券市場>

期間中は、米国、英国および日本では国債利回りは緩やかに上昇したものの、欧州ではドイツ、フランス、イタリアなどの主要国では利回りは横ばいで推移しました。

米国債の利回りは、米連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを開始するとの観測から期の前半では4%を下回り推移しました。2024年9月中旬には期中最低となる3.6%台まで低下しました。しかし、米国のインフレ率が依然として高止まりしていることから、米国経済は依然として過熱感があるとみなされ、2025年の利下げ観測は後退し9月後半から利回りは上昇に転じました。2024年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）では2025年の金利引き下げ回数を9月の見通しから半減させ2回と公表しました。この利下げ幅縮小を受けてFOMC後から米国債利回りは上昇ペースを強め期末では4.7%台となりました。

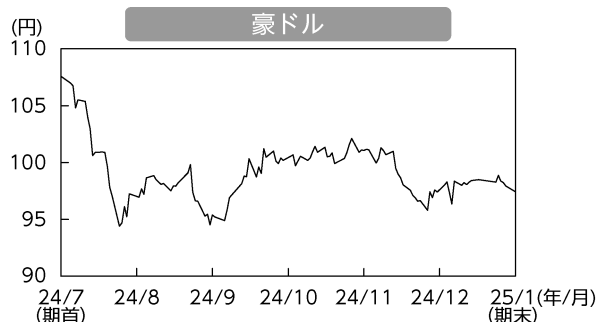
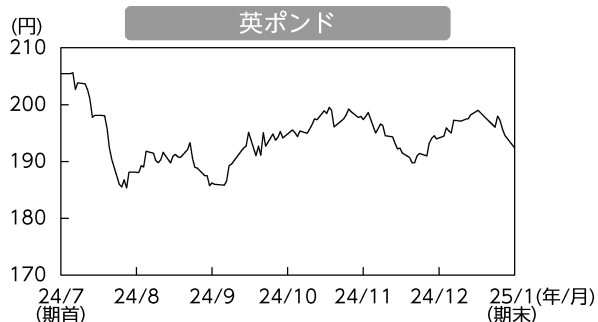
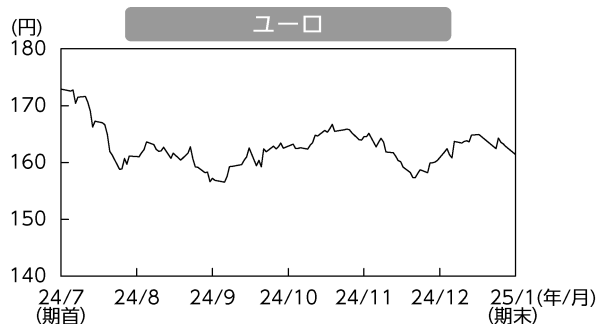
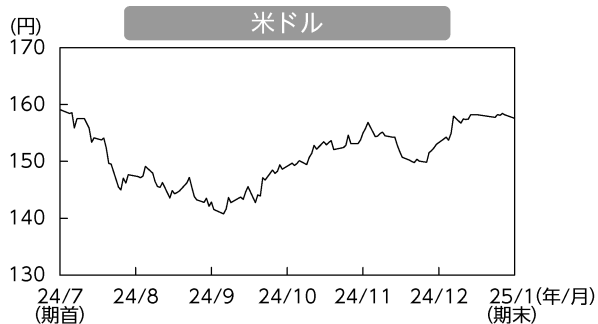
ドイツでは、2024年11月まで国債利回りが2%~2.5%のボックス圏で推移しました。2023年に続いて2024年も経済成長率のマイナスが続くことが確実になり、欧州中央銀行（ECB）は2024年12月に3回連続で政策金利を引き下げたことが背景にあります。2024年末からは米国債の利回り上昇の影響を受けやや上昇し、期末では2.6%台となりました。

日本においては2024年3月のゼロ金利政策解除後、7月に政策金利を0.25%に引き上げたものの、その後3回連続で金利引き上げを見送り、国債利回りは1%近辺で緩やかに推移しました。しかし2025年1月以降に利上げを複数回実施するとの予想から国債利回りは緩やかに上昇し、期末では1.2%台となりました。

<外国為替市場>

外国為替市場は、主要先進国通貨は円に対して総じて下落しました。

○為替レート（対円）の推移



出所：三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（TTMレート）

■ポートフォリオについて

ベンチマークの構成比率を基本資産配分比率としながら、市場見通しにより債券と通貨の資産配分を機動的に変更するアクティブ運用を行いました。

債券・円短期金融商品における資産間配分

債券と円短期金融商品における資産間配分では、債券に対して弱気としました。期間中の資産間配分は本ファンドのパフォーマンスにマイナス要因となったものと推定されます。

債券国別配分

債券国別配分の本ファンドのパフォーマンスへの影響はプラスであったものと推定されます。フランスに対して強気、英国に対して弱気としていたことがプラス要因となりましたが、日本に対して弱気、オーストラリアに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行います。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、アメリカドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、アメリカドルの配分を減らすということになります。

期間中の通貨配分戦略は本ファンドのパフォーマンスにプラス要因となったものと推定されます。カナダドルに弱気、ニュージーランドドルに強気としていたことがプラス要因となった一方で、アメリカドルに対して強気、ノルウェークローネに対して弱気としたことがマイナス要因となりました。

■ベンチマークとの差異について

当期の本ファンドのパフォーマンスは-3.6%となり、ベンチマーク（-2.2%）を下回りました。

当期においては、債券国別配分および通貨配分がプラス寄与となった一方、資産間配分がマイナス寄与となりました。

今後の運用方針について

資産間、債券国別、通貨の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

債券・円短期金融商品における資産間配分

資産間配分では、円キャッシュに対し、モメンタムの観点から世界債券に強気の見通しとしています。

債券国別配分

債券国別配分においては、ドイツやフランスに対して強気の見通しとする一方で、オーストラリアや英国に対して弱気の見通しとしています。フランスとドイツに対してはバリューとマクロの観点から強気とする一方で、オーストラリアに対してはモメンタムの観点から、英国に対してはマクロおよびモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

通貨配分

通貨配分においては、米国や日本に対して強気の見通しとする一方で、スイスやユーロ圏に対して弱気の見通しとしています。米国に対してはモメンタムおよびマクロの観点から、日本に対してはファンドフローおよびバリューの観点から強気の見通しとする一方で、スイスに対してはモメンタムおよびマクロの観点から、ユーロ圏に対してはファンドフローおよびマクロの観点から弱気の見通しとしています。

(上記見通しは2025年1月14日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

■1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2024年7月13日～2025年1月14日		
	金額	比率	
売買委託手数料 (先物・オプション) (プライムブローカー)	4円 (3) (1)	0.019% (0.015) (0.004)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (その他)	2 (0) (1)	0.008 (0.002) (0.006)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	6	0.027	

期中の平均基準価額は21,965円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況(2024年7月13日から2025年1月14日まで)

先物取引の銘柄別取引状況

国	債券先物取引	銘柄	買 建		売 建	
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
内	債券先物取引	10年国債標準物	百万円 2,169	百万円 2,167	百万円 2,708	百万円 2,010
外	債券先物取引	米国国債先物10年	147	155	2,674	3,206
		カナダ国債先物10年	502	133	1,217	1,413
		オーストラリア国債先物10年	1,438	1,423	651	189
		英国国債先物10年	361	700	1,865	1,359
		イタリア国債先物10年	822	843	—	—
		ドイツ国債先物10年	—	—	2,141	3,280
		フランス国債先物10年	2,773	2,798	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 外国の取引金額は、各月中の取引額を当該月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

■利害関係人との取引状況等(2024年7月13日から2025年1月14日まで)

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細(2025年1月14日現在)

(1) 公社債

A 債券種類別開示

外国(外貨建)公社債

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千米ドル 9,444	千米ドル 8,645	千円 1,362,231	% 42.0	% —	% 42.0	% —	% —
ユ ー ロ ド イ ツ	千ユーロ 6,799	千ユーロ 7,789	1,257,450	38.8	—	22.6	16.2	—
イ ギ リ ス	千英ポンド 1,005	千英ポンド 889	171,163	5.3	—	5.3	—	—
合 計	—	—	2,790,845	86.0	—	69.9	16.2	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

外国(外貨建)公社債

種 類	銘 柄 名	当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
国 債 証 券	(アメリカ)	%	千米ドル	千米ドル	千円	
	US TREASURY N/B 3%	3.0	3,390	2,428	382,593	2048/2/15
	US TREASURY N/B 4.5%	4.5	3,055	2,995	472,049	2036/2/15
	US TREASURY N/B 6.25%	6.25	2,999	3,221	507,587	2030/5/15
小 計	—	—	—	1,362,231	—	—
国 債 証 券	(ユーロ…ドイツ)		千ユーロ	千ユーロ		
	DEUTSCHLAND REP 4%	4.0	1,284	1,450	234,135	2037/1/4
	DEUTSCHLAND REP 4.75%	4.75	1,560	1,687	272,380	2028/7/4
	DEUTSCHLAND REP 4.75%	4.75	1,290	1,524	246,116	2034/7/4
	DEUTSCHLAND REP 5.5%	5.5	1,341	1,568	253,131	2031/1/4
	DEUTSCHLAND REP 6.25%	6.25	1,324	1,559	251,687	2030/1/4
小 計	—	—	—	1,257,450	—	—
国 債 証 券	(イギリス)		千英ポンド	千英ポンド		
	UK TREASURY 3.25%	3.25	261	196	37,720	2044/1/22
	UK TREASURY 4.25%	4.25	275	268	51,610	2032/6/7
	UK TREASURY 4.5%	4.5	225	204	39,321	2042/12/7
	UK TSY 4 1/4% 2039 4.25%	4.25	244	220	42,510	2039/9/7
小 計	—	—	—	171,163	—	—
合 計	—	—	—	2,790,845	—	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
国 内		百万円	百万円
	10年国債標準物	—	843
外 国	イタリア国債先物10年	398	—
	米国国債先物10年	—	608
	英国国債先物10年	—	463
	カナダ国債先物10年	368	—
	フランス国債先物10年	1,015	—
	オーストラリア国債先物10年	—	463

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) —印は組入れなし。

■投資信託財産の構成

2025年1月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	2,790,845	83.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	551,114	16.5
投 資 信 託 財 産 総 額	3,341,959	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産 (2,875,837千円) の投資信託財産総額 (3,341,959千円) に対する比率は86.1%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=157.57円、1カナダドル=109.61円、1ユーロ=161.43円、1英ポンド=192.39円、1オーストラリアドル=97.43円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2025年1月14日
(A) 資 産	8,461,186,676円
コール・ローン等	266,183,547
公社債（評価額）	2,790,845,159
未収入金	5,235,785,852
未収利息	35,012,541
差入委託証拠金	133,359,577
(B) 負 債	5,217,690,606
前受金	1,564
未払金	5,212,868,309
未払解約金	4,820,733
(C) 純資産総額（A - B）	3,243,496,070
元 本	1,464,131,220
次期繰越損益金	1,779,364,850
(D) 受 益 権 総 口 数	1,464,131,220口
1万口当たり基準価額（C/D）	22,153円

■損益の状況

項 目	当 期
	自2024年7月13日 至2025年1月14日
(A) 配 当 等 収 益	65,621,695円
受 取 利 息	65,621,695
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 198,297,040
売 買 益	237,110,779
売 買 損	△ 435,407,819
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	5,248,756
取 引 益	171,982,275
取 引 損	△ 166,733,519
(D) そ の 他 費 用 等	△ 404,192
(E) 当 期 損 益 金（A + B + C + D）	△ 127,830,781
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	1,984,031,879
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	18,032,523
(H) 解 約 差 損 益 金	△ 94,868,771
(I) 計（E + F + G + H）	1,779,364,850
次 期 繰 越 損 益 金（I）	1,779,364,850

(注1) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益および (C) 先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で (G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で (H) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

(注4) 期首元本額は1,528,137,465円、当作成期間中において、追加設定元本額は14,991,119円、同解約元本額は78,997,364円です。

(注5) 元本の内訳 世界ソブリン・ベビーファンド

1,464,131,220円

マネー・オープン・マザーファンド

運用報告書

第22期（決算日 2025年1月15日）
（2024年1月16日～2025年1月15日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして安定運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
18期(2021年1月15日)	円		%		%	百万円
	10,159		△0.0		—	521
19期(2022年1月17日)	10,158		△0.0		—	398
20期(2023年1月16日)	10,155		△0.0		—	316
21期(2024年1月15日)	10,152		△0.0		—	293
22期(2025年1月15日)	10,161		0.1		65.9	273

(注) 元本の安全性を優先した運用を行なっているため、ベンチマークおよび適切な参考指数となる指標はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2024年1月15日	円		%		%
	10,152		—		—
1月末	10,152		0.0		—
2月末	10,152		0.0		—
3月末	10,152		0.0		—
4月末	10,153		0.0		60.9
5月末	10,154		0.0		60.7
6月末	10,154		0.0		121.8
7月末	10,155		0.0		60.8
8月末	10,156		0.0		62.5
9月末	10,158		0.1		125.4
10月末	10,159		0.1		125.1
11月末	10,160		0.1		125.4
12月末	10,161		0.1		64.4
(期 末) 2025年1月15日	10,161		0.1		65.9

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2024年1月16日～2025年1月15日)

基準価額の推移

期間の初め10,152円の基準価額は、期間末に10,161円となり、騰落率は+0.1%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・利息収入などを得たこと。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと（2024年3月中旬まで）。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.01%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続いたものの、2024年3月の金融政策決定会合においてマイナス金利政策の解除や7月に追加利上げの決定などを受けて、0.23%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.22%近辺から、日銀による国債買い入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続いたものの、2024年3月にはマイナス金利政策の解除が決定されたことなどから、0.25%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

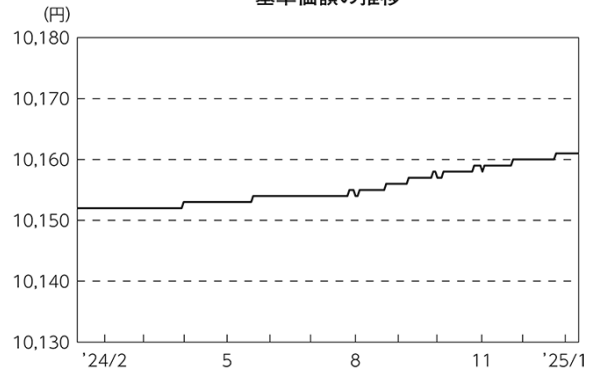
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2024/01/15	2024/12/24	2024/01/16	2025/01/15
10,152円	10,161円	10,152円	10,161円

○1万口当たりの費用明細

(2024年1月16日～2025年1月15日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年1月16日～2025年1月15日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 1,079,902	千円 — (900,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還による減少分です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年1月16日～2025年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年1月16日～2025年1月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年1月15日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	180,000	179,995	65.9	—	—	—	65.9	
合計	180,000	179,995	65.9	—	—	—	65.9	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第445回利付国債(2年)	0.005	180,000	179,995	2025/2/1
合 計		180,000	179,995	

○投資信託財産の構成

(2025年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 179,995	% 64.7
コール・ローン等、その他	98,020	35.3
投資信託財産総額	278,015	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年1月15日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	278,015,070
コール・ローン等	98,014,540
国債証券(評価額)	179,995,814
未収利息	1,684
前払費用	3,032
(B) 負債	4,999,979
未払解約金	4,999,979
(C) 純資産総額(A-B)	273,015,091
元本	268,676,073
次期繰越損益金	4,339,018
(D) 受益権総口数	268,676,073口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,161円

(注) 当ファンドの期首元本額は289,106,290円、期中追加設定元本額は7,298,623円、期中一部解約元本額は27,728,840円です。

(注) 2025年1月15日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	138,618,587円
・グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	65,595,037円
・日興ビコム・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドルコース)	14,352,541円
・日興ビコム・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(トルコリラコース)	10,666,609円
・世界銀行債券ファンド(毎月分配型)	8,974,050円
・資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース	6,156,059円
・日興・GS 世界ソブリン・ファンド(毎月分配型)	6,008,589円
・グローバル3倍3分法(適格機関投資家専用)	5,995,982円
・高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	4,744,401円
・資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド・コース	2,239,402円
・日興ビコム・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	1,859,729円
・日興ビコム・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)	1,821,056円
・高金利先進国債券オープン(資産成長型)	515,165円
・グローバル3倍3分法オープン(適格機関投資家専用)	467,695円
・日興・世界ソブリン・ファンドVA(適格機関投資家転売制限付)	443,136円
・上場インデックスファンド中国A株(パンダ)E Fund CSI300	198,295円
・上場インデックスファンド海外債券(FITSE WGBI)毎月分配型	19,740円

(注) 1口当たり純資産額は1,0161円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○損益の状況 (2024年1月16日～2025年1月15日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	167,295
受取利息	169,413
支払利息	△ 2,118
(B) 有価証券売買損益	93,014
売買益	152,331
売買損	△ 59,317
(C) 当期損益金(A+B)	260,309
(D) 前期繰越損益金	4,403,889
(E) 追加信託差損益金	112,600
(F) 解約差損益金	△ 437,780
(G) 計(C+D+E+F)	4,339,018
次期繰越損益金(G)	4,339,018

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2024年1月16日から2025年1月15日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。